SQS-SE-09-0207

取扱説明書

JQA-QM8678

スーパーフォグシステム

SGC-50PF

R00　2012/5

このたびはスーパーフォグシステムをお買い上げいただき

誠にありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性格、

性能を十分ご理解の上、適切な取り扱いと保守をしていただき、

いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

ー目次ー

安全に使用していただくために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・B1

重要ラベル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・D1

各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・D2

仕様 ・・D3

運転準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・D4

運転方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・D6

使用後の取り扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・D8

保守・点検について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・D10

長期保管時について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・D12

定期点検項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・D14

故障診断 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・D16

電気回路図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・D17

無料修理規定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・E1

わからない事や、故障したら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・E2

保証書 ・・・ ・E3

安全に使用していただくために

本製品は、本書に記載した使用方法に従ってお使いいただく限り、お客様には十分満足いただけるものと信じております。
本書に従わなかった場合、重大な事故の原因になります。

本書中、および本製品に貼付した警告表示で使用している安全標識とその意味はつぎのとおりです。

⚠危険	誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いものを示す内容です。
⚠警告	誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容です。

●本書中で ⚠危険 ⚠警告 が付いた記載事項は、取扱い上特に重要な注意事項です。
注意を怠った場合には、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いので必ずお守りください。

●なお、 ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので　必ず守ってください。

当社は、あらゆる環境下における運転・点検・整備のすべての危険を予測することはできません。
したがって、本書や当製品に明記されている警告は、安全のすべてを網羅したものでは、ありません。
本書に書かれていない運転・点検・整備を行った場合、安全に対する配慮が必要です。
取扱店とよくご相談ください。

⚠危険

- すべての危険、警告、注意事項をご確認の上、ご使用ください。
- 本機は水平な場所に設置し、動き出さないような措置をしてください。
- 本機のまわりに引火物を置かないで下さい。また、引火物が充満するような場所で使用しないでください。
- 降雨や雷鳴時は屋外での作業には使用しないでください。感電や落雷の危険があります。
- 本製品を使用中、異常を感じたら直ちに機械の使用を中止してください。
- 本製品のすべての部材は、メーカー純正部品を使用してください。改造は絶対にしないでください。又、本製品付属品は、磨耗や破損等が認められる場合には、直ちに当社まで相談してください。

⚠警告

- 本製品に水や油などがかからないようにしてください。かかった時は乾いた布でよく拭き、十分に乾燥させてください。
- フォグノズル、フォグチューブなどの接続はゆるんだり、外れたりすることのないように確実に接続してください。
- 運転中は、フォグチューブを引っ張らないでください。

⚠注意

- 吐出された水を飲用などに用いないでください。
- 衛生上、必ず水道水を使用してください。またゴミ等を吸いますと、故障の原因となり、本製品の能力の低下及び損傷につながりますので注意してください。
- 工業用水、井戸水、海水など不純物の混入した水を使用すると故障の原因になります。
- 洗剤、化学薬品等は絶対に使用しないでください。
- 本製品使用の推奨温度は 0℃～常温です。吸水温度は常温までです。
- 冬期、凍結の恐れのある場合は必ず水抜きの作業を行ってください。ポンプが凍結しますと重大な故障の原因となります。
- 空運転は絶対にしないでください。（通常始動後約 10 秒程度で吸水をします。それ以上たっても吸水しない場合は異常です。）運転を中止して原因を調べてください。
- 本機の点検、整備、調整を行う場合必ずポンプを停止させ圧力を抜いた後に熱部の冷却等を確認し安全に作業を行ってください。
- ・　日常点検、整備を必ず行い本製品を常に良好な状態にしておいてください。不具合がある状態や問題のある状態で操作すると、ケガをしたり本製品が故障する原因となります。
- アスベストや危険粉塵を含む環境や放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。
- 公道走行時は使用しないでください。

⚠危険

- ケーブルを踏んだりひっぱったり、上に物をのせたりせず大切に扱ってください。また、加工しないでください。火災、感電の原因になります。
- ケーブルが損傷している場合は、そのまま使用しないでください。
- 本機や通電部分（各種装置、ケーブル、コンセントなど）に、水がかからないようにしてください。また、濡れた手で通電部分をさわらないでください。
- バッテリーに繋がった状態で、点検、整備をしないでください。感電のおそれがあり、非常に危険です。必ず本機端子をバッテリーから取外した状態で、作業してください。

⚠警告

- 運転中は本製品のカバーは開けないでください。

⚠注意

- DC12V で使用してください。指定の電圧以外で使用すると、電気部品の損傷につながります。

⚠危険

・金属工具類はビニールテープなどで絶縁処理したものを使用してください。ショートの原因となり、やけど、蓄電池の破損や引火爆発の原因となります。
・蓄電池の＋端子と－端子を針金などの金属工具類で接続しないこと。また、電圧の異なる箇所に接触させないでください。
・密閉空間や火気の近くには設置しないでください。これらの場所に設置すると爆発や火災の原因となります。

⚠警告

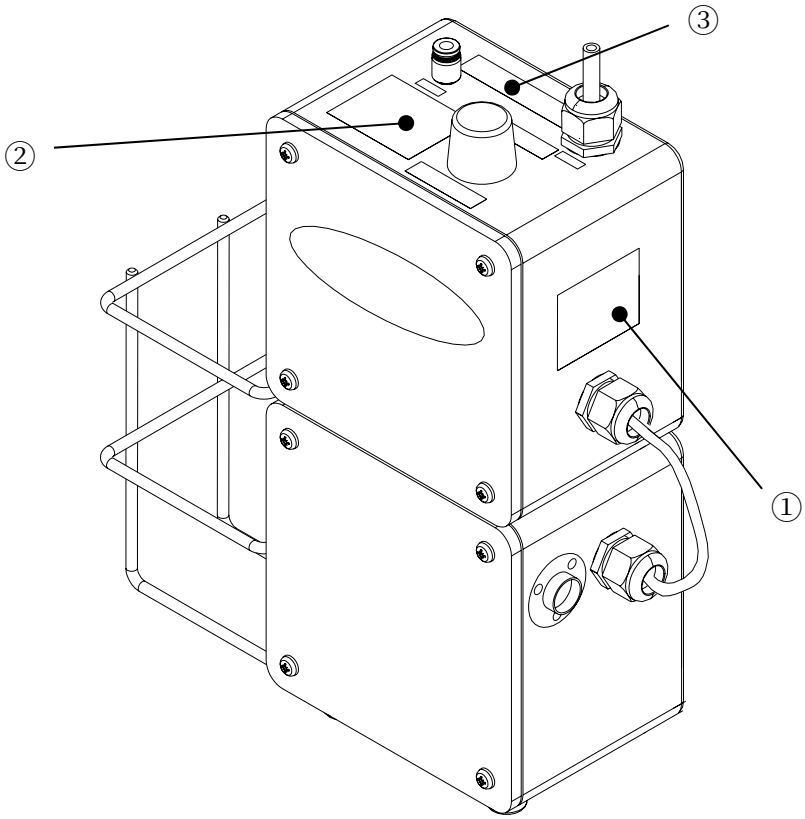
・蓄電池を分解、改造、破壊しないでください。蓄電池の漏液、火災、爆発させる原因となります。
・乾布、はたきがけによる清掃をしないでください。乾布、はたきがけによる清掃は、静電気による爆発の原因となります。清掃は、水を含んだ布などで行ってください。
・蓄電池は内部に希硫酸を保持しています。蓄電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合はすぐに多量の水で洗い流してください。また、液が目に入った時は、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗った後医師の治療を受けてください。希硫酸が目に入ると失明、皮膚に付くと火傷の原因となります。
・ゴム手袋着用などの安全対策なしで蓄電池の交換作業等はしないでください。安全対策なしで作業すると感電の原因となることがあります。
・取扱説明書等に記載された交換時期までに蓄電池を交換してください。交換時期を過ぎて使用した場合、蓄電池の漏液、火災、爆発などの原因となります。
・正方から 90°を超えて倒して設置しないでください。上下逆転姿勢に設置すると漏液の原因になることがあります。
・配列の極性(＋、－)を間違えないように設置してください。極性を逆に接続すると火災や充電器破損の原因となります。
・蓄電池の端子の腐食、漏液、電槽の変形など、これまでと異なる現象に気がついた時は使用しないでください。異常のあるまま使用すると蓄電池を漏液、火災、爆発させる原因となります。
・蓄電池が発熱している場合、そのまま使用しないでください。蓄電池の燃焼や破損の原因となります。

⚠注意

- 蓄電池を炎天下の自動車内、直射日光の強い所、ストーブの前面、火のそばなどの 40℃を超える場所で使用したり保管しないでください。これらの場所で使用したり保管したりすると、蓄電池を漏液、火災、および爆発させる原因になる恐れがあります。
- 蓄電池を水や海水などで濡らしたり浸けたりすると蓄電池を腐食させる原因になることがあります。
- 蓄電池は、粉塵の多い場所で使用しないでください。粉塵の多い場所では、蓄電池のショートの原因になる恐れがあります。
- 蓄電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。
- 蓄電池の設置・据付は、事故防止のために熟練者(専門家)または経験者(蓄電池設備整備資格者など)の指示のもと作業を行なってください。未経験者だけでの対応は間違いの原因になる恐れがあります。
- ビニールシートなど静電気の発生の恐れのあるものを蓄電池にかぶせないでください。静電気の発生は引火爆発の原因になる恐れがあります。
- 蓄電池は消防法などで規定されている期間毎に定期的に点検を行ってください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準を外れている場合は、取扱説明書に基づき処置してください。基準を外れたまま使用すると蓄電池の破損や焼損の原因になる恐れがあります。

重要ラベル

・重要ラベルは常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しい物に貼り直してください。
・重要ラベルの購入は、当社にお申し付けください。



① (040009221)

⚠危険		⚠警告
感電に注意 雨の中での運転はしないでください。又本機に水をかけないでください。	**感電に注意** 点検・整備をする時は、必ず電源を切ってください。	**感電に注意** 運転中は本機のカバーを開けないでください

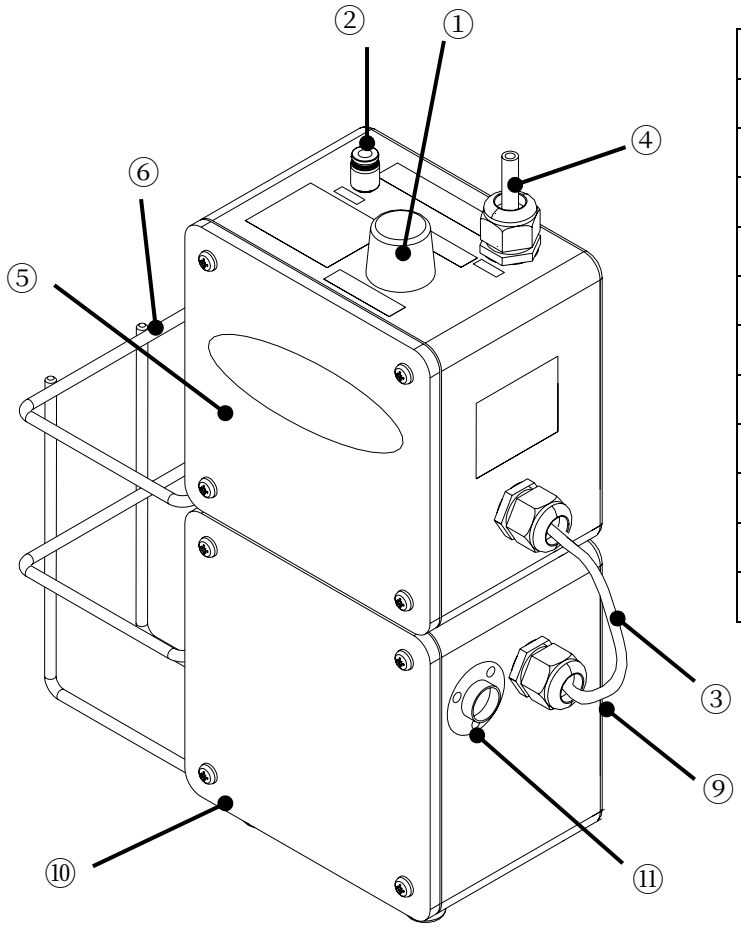
②(1001G0015)

⚠警告		⚠注意	
取扱説明書 必ず取扱説明書をお読みください。「危険」「警告」「注意」事項に従わないと重大事故の危険性あり。	**車輪止め** 運転中に本機が移動しない様に、車輪に歯止めをし、水平な場所に本機を設置してください。	**凍結防止** 冬季など0℃以下になる場合は必ず水抜き作業を行い、不凍液注入などで凍結防止してください。	**空運転禁止** 無吸水での運転はしないでください。 **漏水注意** 使用水は清水を使用してください。

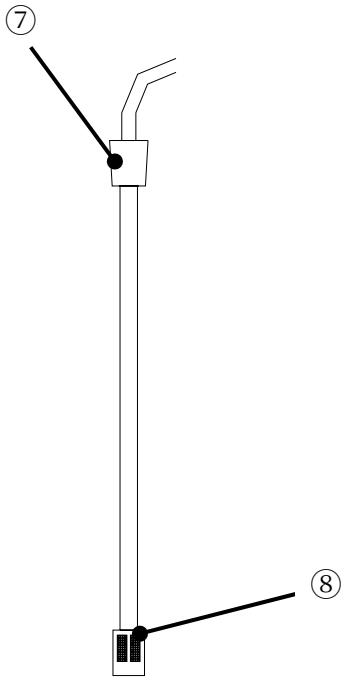
③(04000894)

⚠危険	雨の中での運転はしないでください。

各部の名称



NO.	名称
1	運転(噴霧)ボタン
2	吐出口
3	電源コード
4	吸水口
5	本体ボックス
6	ボトルホルダー
7	ゴム栓
8	ストレーナ(内部にフィルタ)
9	本機取付ステー
10	バッテリーボックス
11	充電口



仕　　様

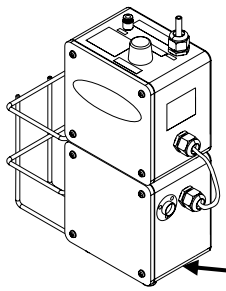
名称	スーパーフォグシステム SGC フォークリフト仕様
型式	SGC-50PF
圧力 MPa (kgf/cm²)	0.39 (4)
水量 (L/min)	約 0.064　(ノズル 4 個)
出力	36W
定格電圧	動力回路:DC12V／操作回路 DC12V
電流	3.0A
本体寸法 L×W×H (mm)	330×130×350
本製品乾燥質量 (kg)	約 5.4
フォグチューブ	6m-1 本
フォグノズル	SUS006（フィルタ付)×4 個
フィルタ	焼結フィルタ(ストレーナ内)
運転回数(満充電時)	50 回/4L 分(2L ペットボトル 2 本分)
標準装備品	ペットボトル吸水用ホース一式 タイマー運転装置(30 秒(or1 分)運転後自動停止) バッテリー NPH5-12(12V-5Ah) バッテリー充電装置(スイッチング電源) 本機取付ステー
標準付属品	SUS バンド L500×幅 10(2 本) SUS バンド用カバー（4 個) 充電用電源ケーブル 1.8m(AC100V 0.75mm² 2 芯)
特記事項	凍結不可 雨天時屋外使用禁止

運転準備

1. 移　動

⚠注意

・移動時・取付時には必ず本体下部を持って運搬してください。



本体下部

2. 取　付

⚠警告

・雨天時は必ずポンプを停止させください。感電、漏電の恐れがあります。
・DC12V バッテリー以外には接続しないでください。故障の原因となります。
・充電ケーブルは充電時以外には取外してください。

（1）取付方法

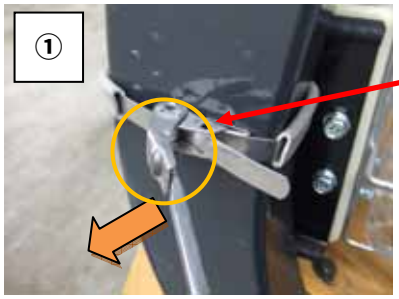
本製品、ペットボトル、チューブ、ノズルを別紙取付要領書をもとに本機に取り付けてください。

充電時以外は充電ケーブルは取外してください。

⚠注意

・本製品を通気の悪い場所に設置しないでください。
・塵や埃の多い場所に設置しないでください。
・走行時脱落しないように確実に取り付けてください。
・車両寸法（長さ、幅、高さ）が変わらない位置に取り付けてください。
・外側に向けて先端が尖った又は鋭い部分がないように取り付けてください。

（2）SUS バンドの取外し方法



①ハンドルをマイナスドライバー等で外してください。

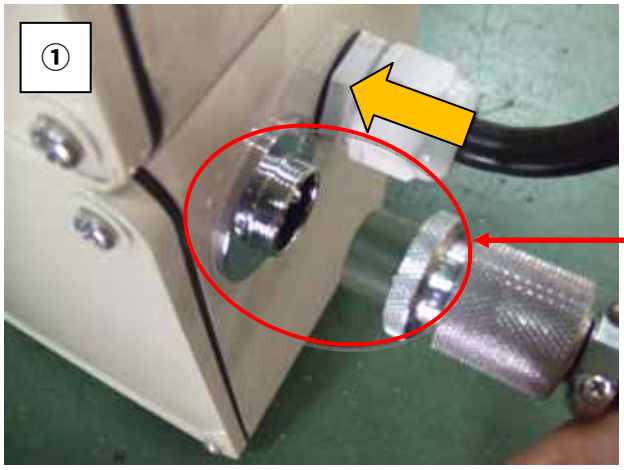
②ニッパー等で SUS バンドを切断し、取外してください。

運転準備

3. 充　電

⚠注意

・運転前には必ずバッテリーを 1 日充電してください。保管中に自己放電等でバッテリーの電圧は低下しております。



①本機コネクタに充電ケーブルコネクタを差し込む。

②コネクタについているリングを時計回りに回してケーブルをしっかり取り付ける。

③充電ケーブルを 100V 電源に接続し充電する。

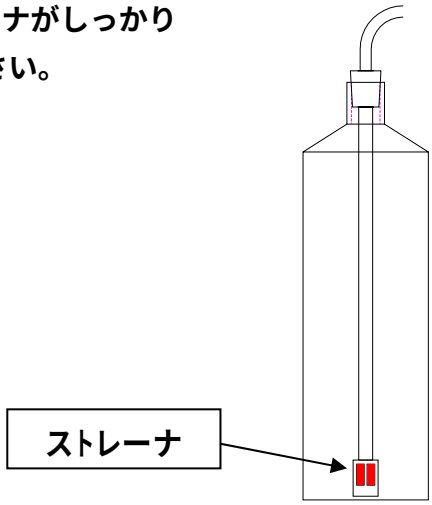
※バッテリーを約 1 日（24 時間）充電してください。

④バッテリー充電後は電源からケーブルを抜いた後、本機からコネクタを外してください。

運転方法

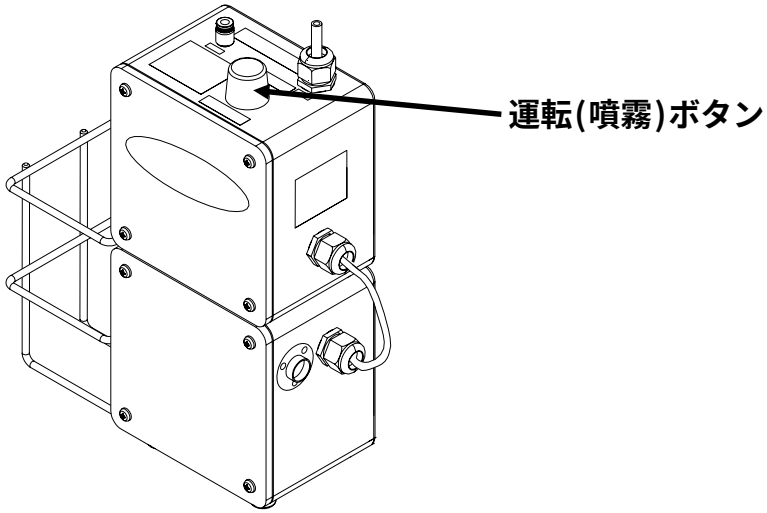
1. 運転方法

（1）ペットボトル内に水が入っており、ストレーナがしっかり水の中に沈められているのを確認してください。



※水を再度補充する場合は水道水のみ使用してください。

（2）運転(噴霧)ボタンを一度押してください。設定時間(30 秒 or1 分)ミストを噴霧のあと、自動で停止します。



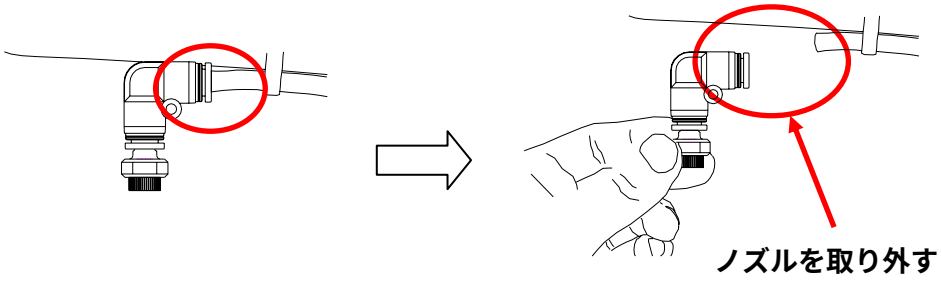
（3）運転(噴霧)ボタンを長押し(3 秒程度)すると、強制的に停止させることが出来ます。

⚠注意

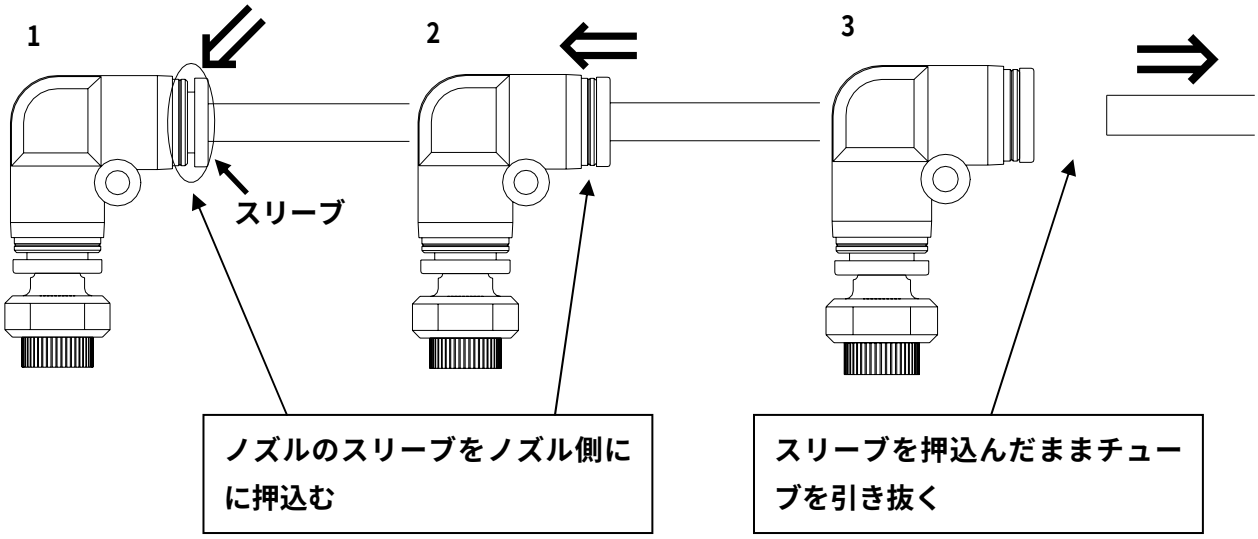
- ポンプの空運転は禁止です。長時間の空運転はポンプが損傷する恐れがあります。ペットボトルの水を切らさないよう注意してください。
- 本機運転時は必ずバッテリー充電ケーブルを取外してください。
- フォークリフトの電装品への噴霧はしないでください。
- ペットボトルに水が残ったまま 1 日以上放置するとペットボトル内の水質が悪化している可能性があり、衛生上問題になるおそれがあります。普段のご使用前にはペットボトルの水を捨てて、新しく購入した水もしくは新しい水道水を入れてご使用ください。

2. エア抜き方法

①先端のノズルを配管ごと 1 個取り外して下さい。



※ノズルの取外し方法



②運転ボタンを押してノズルを取り外したチューブから水が出てくるのを確認します。

③停止後ノズルを元通りに取り付けた後運転し、正常に噴霧しているか確認してください。

⚠注意

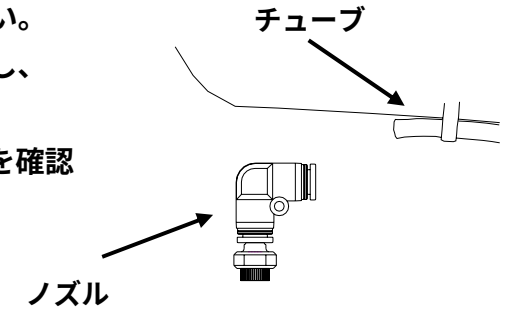
- 特に初回使用時や、シーズンイン時（長期保管後、初めて運転する際）は配管系統のゴミを出す目的で、必ずエア抜きを行ってください。
- エア抜きの際は周囲に人がいないことを確認してから行ってください。

使用後の取扱い

1. 本製品内の水抜き方法

長時間ペットボトル内や配管に水が残っていると、水質が悪化する可能性があります。そのまま使用すると、吐出されたミストで健康を害する恐れがあり、衛生上問題があります。使用後は必ず以下の手順で水抜き操作を行ってください。

①ペットボトル内のホースを取り外してください。
②先端のノズルを配管ごとチューブから取り外し、
運転ボタンを押して運転してください。
③本製品吐出口チューブから水が出てこないのを確認
出来たら終了です。



⚠注意

・水が抜けたにもかかわらず、長時間運転するとポンプが高熱になり破損する恐れがあります。1 分以上の水抜き操作は絶対に行わないでください。

2. 寒冷地での使用

⚠注意

・気温が 0℃以下のときは原則として使用しないでください。凍結によりポンプが損傷します。
・使用後の保管場所が凍結の恐れがある場合、必ず水抜きをしてください。チューブを含む本機内の水経路内に凍結が発生したまま運転しますと必ず損傷します ので十分注意してください。

3. 使用後の保管

⚠危険

・使用しないときは屋内で保管してください。本製品が雨に濡れたまま使用すると漏電・感電の恐れがあります。

⚠注意

・本機を濡らさないよう水洗いしないでください。

4. 本機の充電方法

毎日運転後に充電を行ってください。本機側面にコネクタが付いていますので、付属している充電用電源ケーブルを取付けて充電してください。（充電方法は D5 を参照してください。）

警告

・バッテリーの充電時以外はコンセントを抜いて、バッテリー充電ケーブルを取外してください。充電中に本機を運転すると故障の原因となります。

保守･点検について

⚠警告

・本製品の保守・点検を行う場合は電源ケーブルをバッテリーから取り外してから作業を行ってください。

1. 電装関係の点検

・電源コードに傷や端子に緩みがないか点検してください。

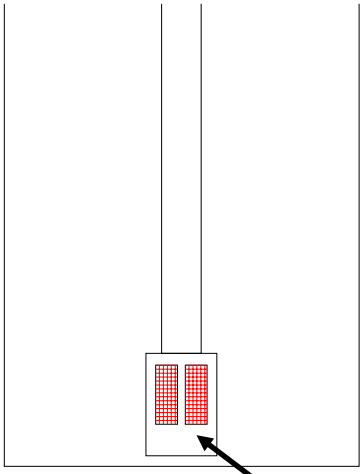
2. 配管・付属品の点検

⚠注意

・吸水ホース、フォグノズル、吐出チューブなどに磨耗、破損、水漏れがないか点検してください。不具合がある場合はただちに修理・交換してください。

3. ペットボトル内ストレーナの清掃

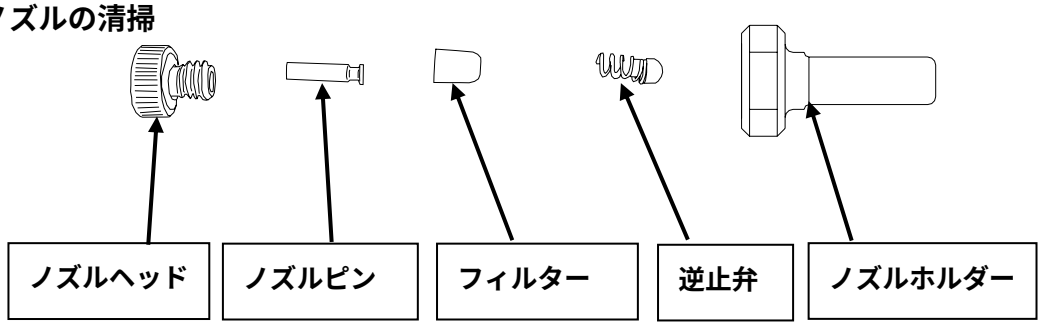
・月に 1 回程度、ストレーナ(内部のフィルタ含む)をエアもしくは清水で清掃してください。



ストレーナ

4. ノズルの清掃

(1) ノズルの清掃



・フォグの噴霧パターンが異常な（円すい状に出ない、均一に出ない）場合
・霧が全く吐出されない場合
・本製品停止時に特定のノズル先端から常に水がたれる場合
以上のような症状はフォグノズル内のゴミ詰まりが考えられますので、フォグノズルを清掃してください。

(2) ノズルの清掃方法

①フォグノズルは上の写真のように分解できます。
②ノズルヘッドの穴とノズルピンの先端をエアもしくはパーツクリーナで清掃し、元通り組み付けてください。
③また、本製品停止時に特定のノズル先端から常に水がたれる場合は、そのノズルの逆止弁を清掃してください。

※ノズルを清掃しても症状が改善されない場合は、フォグノズルを交換してください。

⚠警告

・フォグノズル組み付け時に必ずノズルピンを忘れずにノズルヘッドに挿入してください。
・ノズルピンを忘れた場合、運転時に高圧水が直射されますので、直射水が人体に当たった場合、ケガをする恐れがあります。

長期保管時について

⚠危険

・密閉空間や火気の近くには設置しないでください。これらの場所に設置すると爆発や火災の原因となります。

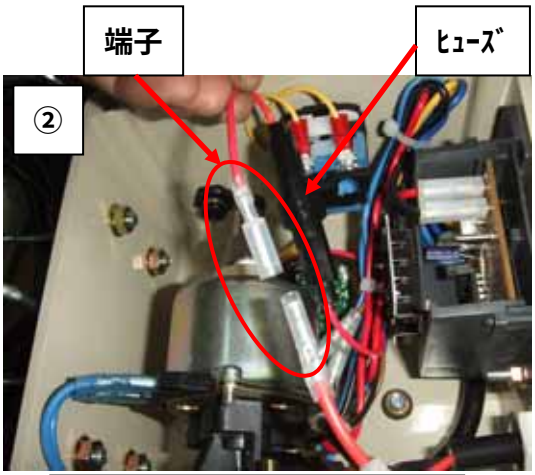
⚠注意

・蓄電池を炎天下の自動車内、直射日光の強い所、ストーブの前面、火のそばなどの 40℃を超える場所で使用したり保管しないでください。これらの場所で使用したり保管したりすると、蓄電池を漏液、火災、および爆発させる原因になる恐れがあります。
・蓄電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。
・蓄電池の設置・据付は、未経験者だけでの対応は間違いの原因になる恐れがあります。事故防止のために熟練者(専門家)の指示のもと作業を行なってください。
・蓄電池は期間毎に定期的に点検を行ってください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準(D15)を外れている場合は、取扱説明書に基づき処置してください。基準を外れたまま使用すると蓄電池の破損や焼損の原因になる恐れがあります。

1. バッテリ-の保管について

長期保管前には写真に示す端子を必ず取外してください。(接続したまま保管しますとバッテリーが完全放電してしまいます。)

①ケースを外してください。



②ヒューズが付いている端子を外してください。

⚠注意

・端子を取外さずに保管しますと、基板動作用の電流でバッテリーが放電しすぎて上がってしまいバッテリーの性能や寿命の劣化原因となり、再充電しても使用できない可能性があります。

2. バッテリ-の補充電について

本機に搭載されているバッテリーに定期的に補充電を行ってください。補充電のインターバルは、保存温度により異なりますので、下記表を確認し補充電を実施してください。

保存温度	補充電のインターバル	補充電方法
25℃以下	6 か月以内	本機を 1～2 日間充電してください。
30℃以下	4 か月以内	
35℃以下	3 か月以内	
40℃以下	2 か月以内	

⚠注意

・バッテリーの補充電を定期的に実施してください。バッテリーの性能や寿命の劣化原因となり、再充電しても完全放電のため使用できない可能性があります。

定期点検項目

点検項目	作業前
【本体】	
各部の締付点検	○
各部の水漏れ点検	○
異常音、異常振動の点検	○
重要ラベル（ＰＬ）の剥がれ、汚れ、破れの点検	○
取付ステーのバンド緩みの点検	○
【ホース】	
ストレーナ(フィルタ)の点検・清掃	１回/１ヵ月
ノズル、チューブの水漏れ点検	○
【配線】	
配線外被の損傷点検	○
配線結束状態の点検	○
配線端子のゆるみ点検	○
【バッテリー】	
バッテリーの補充電	D5,12,13 参照
バッテリーの変形及び損傷、漏液の有無	１回/６ヵ月

＊点検の際は必ず電源を入れずに、バッテリから線を外して作業してください。

＊上記の時間は点検の目安であり耐久時間を示したものではありません。

＊不具合がある場合は、当社にお申しつけください。

1. バッテリ-の取り替え時期について

バッテリーの寿命は使用温度などの環境条件によって大きく変化しますので、表の使用条件を参考にして、取り替え時期の目安を決め、バッテリーを交換してください。

バッテリーの取り替え時期の目安

バッテリー周辺温度	取り替え時期の目安
5～25℃	2～3 年
30℃	1.5～2 年
40℃	1～1.5 年

定期点検項目

2. バッテリー定期点検

バッテリーのトラブルを未然に防止するため、定期的に次に示す点検を行ってください。

6 ヶ月点検

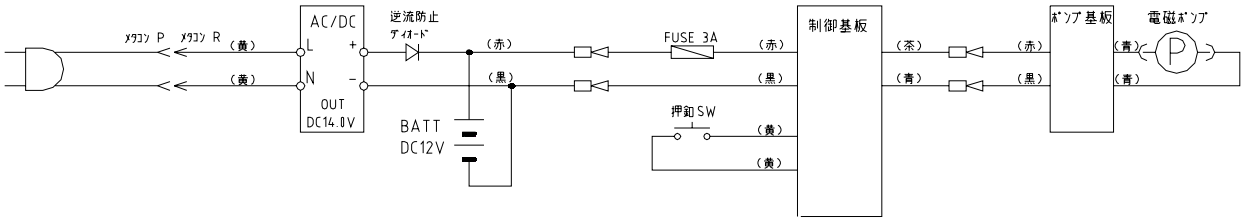
点検項目	方法	基準	処置
ﾊﾞｯﾃﾘｰの外観	電槽、ﾌﾀなどの変形、損傷および漏液の有無をみる。	目視で明らかに判る膨れなど変形が無いこと。損傷、漏液が無いこと。	変形、損傷、漏液があるときは、その原因を確認し、変形、損傷のあるものは電池を交換する。
	ほこりなどによる汚損の有無をみる。	汚損が無いこと。	汚損していれば水を含んだ布で清掃する。
	端子、接続線などの発錆の有無をみる。	発錆がないこと。	清掃、防錆などの補修を行う。

3. バッテリーの交換方法

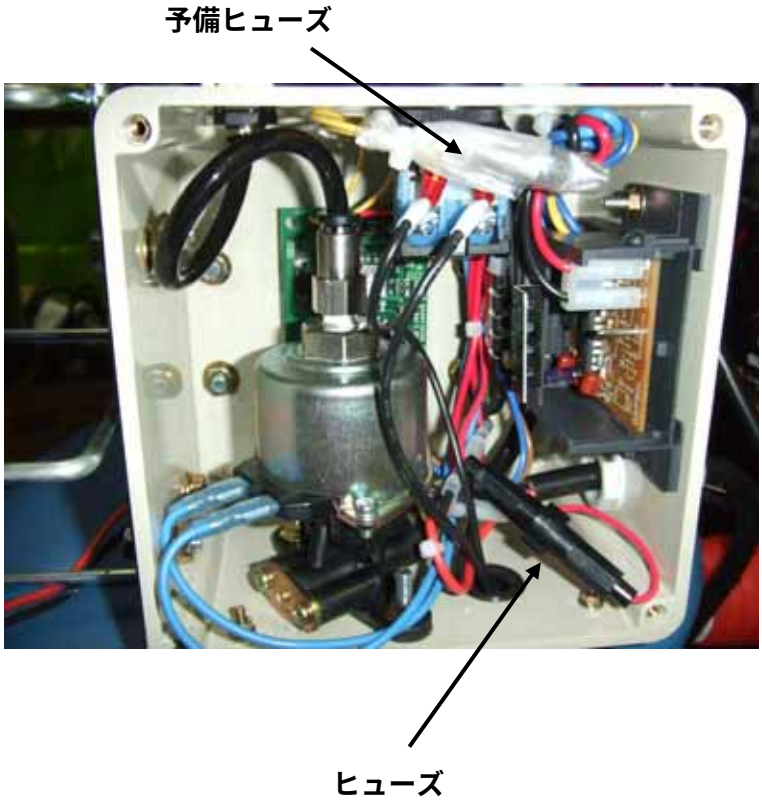
故障診断

症　　状	原　　因	対　　策
ノズルから霧が出ない。	ノズルのつまり	ノズルの清掃・交換
	フォグチューブ内のエア噛み	エア抜きをする
水を全く吸わない。	水タンクが空	水道水を水タンクに入れる
	ポンプが空気を吸っている	吸水口配管の点検・交換
	ストレーナ(フィルタ)の目詰まり	ストレーナ(フィルタ)の清掃
	ポンプ内の 0 リングの磨耗、損傷	当社にお申し付けください
	電磁ポンプの動作不良	当社にお申し付けください
ポンプが起動しない。	バッテリー電圧不足	バッテリーの充電・交換
	ヒューズの溶断	ヒューズの交換(D17 参照)

電気回路図



ヒューズの位置



無料修理規定

1.保証の内容

製品を構成する純正部品に、材料又は製造上の不具合が生じた場合、この保証書に示す期間と条件に従って、無償修理致します。(以下この無償修理を保証修理といいます。)
保証修理は部品の交換、あるいは補修により行います。また、取り外した不具合部品はスーパー工業㈱の所有となります。

2.保証期間

保証修理の受けられる期間は製品を引き渡した日より起算し、一年間又は使用時間 500 時間に達するまでといたします。

3.保証できない事項

(1) 次に示すものに起因する不具合は保証修理致しません。

- **① 弊社の「取扱説明書」に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検方法・禁止事項・保管方法を守らず、それが原因で生じた故障と認められた場合。**
- **② 弊社が示す使用の限度を越える使用。**
- **③ 弊社が認めていない改造又は変更。**
- **④ 純正部品及び指定している油脂類(潤滑油・燃料油等)以外の使用。**
- **⑤ 経時変化による自然変色発錆。**
- **⑥ 機能上に影響のない単なる感覚的現象(音・振動・外観上の軽微な傷等)**
- **⑦ 天災・地変による損傷。**
- **⑧ 弊社以外で修理され、それが原因で生じた故障と認められた場合。**
- **⑨ アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。**

(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

- **① 損傷部品を紛失された場合の修理費用。**
- **② 不具合による休業保証・レンタル料・電話代等二次的損失。**
- **③ 下記に示す消耗部品及び油脂類等。**
  各フィルタエレメント・ランプ・計器類・ノズル・パッキン・ゴムホース・シール等及びこれに類する消耗部品 。

＜ご注意＞

保証の請求には、必ず本証書をご提示ください。ご提示なき場合は保証しかねる場合があります。

ご使用の前に取扱説明書をよく読んでください。

わからない事や、故障したら

●ご使用のスーパーフォグシステムについてわからない事や故障が生じた時に、
次の事を確認の上、当社までお問い合わせください。

（1）型式名と機番　　（2）ご使用状況（どんな時に）　　（3）ご使用時間
（4）故障状況（水を吸わない、圧力が上がらない、モータが始動しない等）

スーパーフォグシステム
保 証 書

このたびはスーパーフォグシステムをお買い上げいただきまして、ありがとうございました。
下記記載の製品について本書記載内容（E1 ページ記載）で保証いたします。なお、この
保証書は日本国内で使用される場合に適用いたします。

機種・品番		**SGC-50PF**
保証期間		**製品引渡し日より起算し１年間または使用時間が** **500 時間に達するまでのどちらか早い方**
納入年月日		**平成　　年　　月　　日**
お客様	**ご住所**	
	お名前	
	電話番号	
納入店名	**住所・店名** **電話　　(　　)**	

MEMO

MEMO

MEMO

スーパー工業株式会社

本社・大阪営業所　大阪府摂津市鳥飼本町５丁目 3-7
〒566-0052　TEL(072)653-2721　FAX(072)653-2354

大　阪　工　場　大阪府摂津市鳥飼本町２丁目 2-48
〒566-0052　TEL(072)654-3990　FAX(072)653-2912

東 京 営 業 所　東京都江戸川区中央４丁目 15-13
〒132-0021　TEL(03)3653-2411　FAX(03)3653-2420

名古屋営業所　愛知県名古屋市緑区野末町 208
〒458-0915　TEL(052)626-3701　FAX(052)626-3702

札 幌 営 業 所　札幌市白石区菊水７条１丁目 1-24
〒003-0807　TEL(011)823-3661　FAX(011)823-3666

福 岡 営 業 所　福岡県粕屋郡志免町別府北３丁目 5-8
〒811-2205　TEL(092)622-6273　FAX(092)622-6279

広 島 営 業 所　広島市佐伯区五日市中央７丁目 25-23
〒811-2205　TEL(082)208-4885　FAX(082)208-4886

サービス工場　大阪府摂津市鳥飼本町５丁目 1-7
〒566-0052　TEL(072)653-2721　FAX(072)653-2354

沖 縄 駐 在 所　沖縄県那覇市首里当蔵町 1-18-3
〒903-0812　TEL(098)887-0089　FAX(098)887-0089

http://www.super-ace.co.jp　E-mail:info@super-ace.co.jp